

岩野っ子のやさしさを広げよう～気づき・考え・行動しよう～

1 目標の設定

平成28年度

学校版環境ISOの取組の成果と課題

(節電・節水について)

△電気使用量と水道使用量の数値目標を具体的に設定して取り組む事ができなかった。

(ごみ減量について)

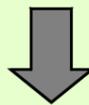
○紙ゴミを中心にゴミ減量の取組を行うことで充実が図れた。

(家庭・地域との連携について)

○地域やPTAと連携した取組ができた。
△家庭との連携を更に充実させていく必要があった。

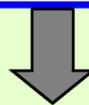
(環境美化)

○クリーン登校や朝のボランティア活動の取組を行うことができた。



平成29年度取組の目標

- 電気使用量昨年度比1%削減
- 水道使用量昨年度比1%削減
- 紙ごみを中心としたゴミの減量
- 地域・家庭と連携した取組の充実
- 自問清掃の徹底・ボランティアの充実



環境委員会を中心とした取組の計画

- ・ISO行動宣言(児童版)の作成
- ・ISOチェックカードを使った振り返り
- ・電気・水道使用量の振り返り
- ・リサイクルボックスの設置
- ・「朝のボランティア」を広げよう作戦

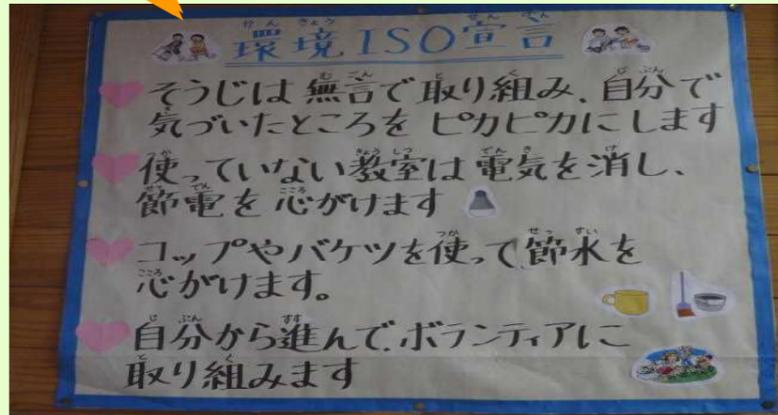
2 宣言

平成29年度岩野小学校版 ISO 行動宣言

児童版 行動宣言

- そうじは無言で取り組み、自分で気づいたところをピカピカにします。
- 使っていない教室は電気を消し、節電を心がけます。
- コップやバケツを使って節水を心がけます。
- 自分から進んで、ボランティアに取組めます。

行動宣言を各教室に掲示した。



職員版 行動宣言

- 照明、OA機器のスイッチをこまめに切り、節電を心がけます。
- 裏紙利用の推進やゴミの分別を徹底し、ゴミの減量に努めます。
- 整理整頓・清掃を心がけ、校舎・校庭の美化に努めます。

3 取組

(1) 節電の取組

節電の取組として、休み時間や掃除の時間は、電気を消すようにした。昨年度は、徹底できていなかったため、環境委員会で見回って呼びかけをしました。そして、毎月の振り返りも行った。



はじめは、消し忘れが多かったけれど、どんどんよくなりました。

また、待機電力カットのために、使っていない電気機器のプラグを抜くように呼びかけた。

(2) 節水の取組

節水のために水飲みや歯磨きの際は、コップを使用した。歯磨きの時は、コップ1杯の水で行った。そうじでも必ずバケツを使い、水は半分以下にするようにした。

また、水道を使った後は、蛇口を下向きにし、水がきちんと止まったかどうか確認するようにした。



(3) ごみ減量の取組

各教室にリサイクルボックスを設置し、分別してリサイクルし、紙ごみの減量に取り組んだ。

古ポスターや古封筒用のリサイクルボックス、古用紙用の裏紙利用コーナーを設置した。



(4) 自問掃除の取組

自問清掃を行い、環境美化に努めた。自問清掃では、始めに正座をし、どのように掃除をするか考えてから掃除を始めるようにした。

自問清掃では、汚れているところに気づき、どのように掃除するか考えて、行動する力がついてきた。また、進んでボランティアに取り組みようとする心も育ててきた。



(5) 環境美化の取組

今年度は、毎週火曜日と木曜日に朝のボランティア活動の取組みを行った。草取りや水やり、花の世話などを中心に行った。2学期には、学校で汚れているところの掃除を自主的に取り組むことができた。3学期に入り、積極的に参加する児童が増えた。



(6) 地域と連携した取組

毎月第3水曜日にクリーン登校を行った。登校中に拾ったごみは、拾った場所やその量を記録した。そして、その結果を地域の方との連携会議で報告し、改善策を話し合った。

私たちにないアイデアをいただいて勉強になりました。



4 記録

電気と水道の使用量については、昨年度の使用量をもとに数値目標を設定し、達成状況をグラフに表し、公表した。

グラフに表すことで、毎月の達成状況が一目瞭然で、反省や今後の対策がしやすくなった。また、児童のがんばりの様子を紹介し、次の活動への意欲を促した。



5 見直し

毎月、ISOの重点目標を設定した。そして、月の半ばと後半に各クラスで取組状況を振り返るようにした。また、環境委員会では、休み時間は電気を消しているか、水道の蛇口がしっかりしまっているかをチェックし、毎月取組の良かったところや課題を各クラスに知らせた。

毎月、生活目標と一緒にISO目標も掲示した。月2回の振り返りをし、その反省を次の活動に活かすようにした。また、環境委員会により、節電や節水の取組の良かったところや課題を各クラスに知らせた。



6 成果と課題等

- 自問掃除やボランティア活動など、気づき・考えて行動する児童が増えた。
- 学校や地域の環境をきれいにしていこうという意識が育てきて、校内の環境美化が充実してきた。
- ごみの減量を紙ゴミを中心とすることで、取組が明確になり、充実・徹底した。
- △節電や節水を行おうとする意識はでてきたが、環境にやさしい行動を充実させたいという更なる意識への転換を図る必要性を感じた。
- △ISO委員会を中心とした活動は充実させることができたが、他の委員会との連携を図ることができなかった。

来年度も更に取組を充実させていきます！